

都市再生整備計画 モニタリングシート  
三保半島地区(第3期)

平成29年3月  
静岡県静岡市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	三保半島地区(第3期)		面積	450ha				
交付期間	平成26～30年度		事後評価実施予定時期	平成30年度	モニタリング実施時期	平成28年度	交付対象事業費	2,117.3百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	【道路】(都)羽衣海岸線 【公園】羽衣公園整備事業、(仮称)三保羽衣公園整備事業、(仮称)三保宮方公園整備事業 【下水道】折戸1号雨水幹線整備事業 【地域生活基盤施設】(仮称)羽衣海岸緑地整備事業 【土地区画整理事業】三保羽衣土地区画整理事業				事業進捗の状況(順調か、遅れているか)							
		提案事業	【地域創造支援事業】三保地区公衆トイレ整備事業 【地域創造支援事業】三保地区景観計画ガイドライン策定事業 【地域創造支援事業】折戸地区雨水きよ整備事業 【まちづくり活動推進事業】三保半島まちづくり活動支援事業				順調に進捗している。							
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】(都)羽衣海岸線 【下水道】折戸1号雨水幹線整備事業				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		提案事業	【地域創造支援事業】三保地区公衆トイレ整備事業				関連事業への事業メニュー変更のため、影響なし。							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】(都)羽衣海岸線 【下水道】折戸1号雨水幹線整備事業				ともに関連事業へ移行(一部事業は、基幹事業として実施)							
		提案事業	【地域創造支援事業】三保地区公衆トイレ整備事業				基幹事業への事業メニュー変更のため、影響なし。							
	新たに追加した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設(駐車場)】三保松原駐車場整備事業 【高質空間形成施設(障害者誘導施設)】三保地区公衆トイレ整備事業 【高次都市施設(地域交流センター)】複合施設建設事業(生涯学習交流館)				【三保松原駐車場整備事業】世界文化遺産登録構成資産効果による来訪者増大に伴い、観光バスによる松への影響が懸念され、観光バスを始めた大型バスの松原への流入を抑制し、松を含む「三保松原」の恒久的な保全を図るため。 【三保地区公衆トイレ整備事業】地区内にバリアフリー対応公衆トイレが不足しており、既存のトイレの改修ではなく、需要が見込める場所に新規でバリアフリー対応のトイレの整備を行うこととし、高質空間形成施設として基幹事業へ移行したため、地域創造支援事業からは削除した。(基幹事業へ移行)							
		提案事業	【地域創造支援事業】複合施設建設事業(児童館)				【三保松原駐車場整備事業】世界文化遺産登録構成資産効果による来訪者増大に伴い、観光バスによる松への影響が懸念され、観光バスを始めた大型バスの松原への流入を抑制し、松を含む「三保松原」の恒久的な保全を図るため。 【三保地区公衆トイレ整備事業】地区内にバリアフリー対応公衆トイレが不足しており、既存のトイレの改修ではなく、需要が見込める場所に新規でバリアフリー対応のトイレの整備を行うこととし、高質空間形成施設として基幹事業へ移行したため、地域創造支援事業からは削除した。(基幹事業へ移行)							
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	指標1	観光入込客数	人/年	906,734	H24	1,200,000	H29	1,066,343	H27	あり	●	三保半島地区の観光入込客数は平成25年をピークに減少傾向にあったが、本年度に入り若干の増加傾向に転じている。今後は、計画数値の完了に伴う効果発現により、増加傾向が続くものと判断する。	計画数値の達成を促すとともに、商談会における観光ルートへの組み込み等の観光施策を強化することで、計画数値の完了を予定年度である平成30年度末時点での目標達成を目指す。
		指標2	道路・自転車道に対する満足度	%	20.1	H25	30.7	H30	20.5	H28	あり	●	指標改善に寄与する事業のほとんどが事業中で、数値目標の増加は図られていない。しかし、住民アンケートの結果から、計画数値の完了することで満足度が向上し、目標値の達成を見込んでいる。	交通ネットワーク関連事業の着実な事業進捗を図ることで、事後評価時点での目標達成を目指す。
	指標3	安心・安全に対する満足度	%	10.6	H25	24.5	H30	16.7	H28	あり	●	指標改善に寄与する事業のほとんどが事業中で、指標への効果は発揮されていないものの、計画に数値目標が向上し、数値が増加していると推測できる。住民アンケートの結果からは、計画数値の完了することで、さらなる満足度が向上し、目標値を達成すると見込んでいる。	三保羽衣土地区画整理事業をはじめとする都市基盤整備等について、計画どおりの事業進捗を図ることで、事後評価時点での目標達成を目指す。	
	その他の数値指標1	三保半島での滞在時間	点	3.4	H25				3.5	H28			観光に関するアンケートの結果からは、三保半島の複数の施設を訪ねる利用者が少ないことが、滞在時間の増加につながっていない原因と推測できる。	乗客施設の完成により、一定の滞在時間の増加が見込まれるが、ハード整備と併せて、ルートマップの作成など、周遊性を高めることで滞在時間のさらなる増加を図る。
4)定性的な効果発現状況	・住民の間にも、「三保松原」に対して、世界文化遺産の構成資産としての環境保全や資産価値という観点からの認識が高まりつつある。 ・市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開された。													
5)実施過程の評価	モニタリング	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
		平成28年度 指標の達成状況の計測と庁内組織による検討				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●				
	住民参加プロセス	三保半島まちづくり協議会※1 三保半島景観形成ガイドライン策定に係る検討※2				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●※1				
		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できなかった				●※2				
持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●					
	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できなかった				●					
6)モニタリングの所見	総合所見	順調	今後の事業進捗により、地区住民の満足度を指標とした項目の目標達成は見込めるが、観光入込客数の目標達成には、観光面でのさらなる充実が必要である。				今後の事業の改善点				◆整備計画に記載された事業所管課による横断的連絡体制を強化し、各事業の進捗状況、スケジュール等を共有することにより、地域の課題解決に向け効果的な事業進捗を図る。 また、本整備計画の対象区域が広域であることから、事業に関する情報を積極的に発信し、整備効果に対する理解を深めて貰う。 ◆第3回変更を実施する。			

# 都市再生整備計画 モニタリングシート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 効果発現要因の整理

## (4) モニタリングの所見

- 添付様式5-① まちの課題の変化
- 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

## (6) モニタリング原案の公表

- 添付様式6 モニタリング原案の公表

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式7 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		●	—	—	—
C. 目標値		●	—	—	—
D. その他( )		●	—	—	—

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業		当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
事業	事業箇所名	事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
道路	(都)羽衣海岸線	1,131.0	W=12m、 L=2,200m	64.6	W=12m、 L=2,200m	平成26年12月の計画変更(第1回変更)に他計画(関連事業)へ移行を行い、計画期間内の事業を縮小し、事業費を減額	道路・自転車道に対する満足度及び安心・安全に対する満足度に関連するが、関連事業として事業を継続するため、指標及び数値目標は据え置く。	●			平成26年12月より、関連事業へ移行(一部基幹事業として整備済み)
公園	羽衣公園整備事業	7.5	A=17.2ha	980.8	A=17.2ha	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて事業費を増額し、平成28年1月に一部収益施設となることから計画変更(第2回変更)し事業費を減額	観光入込客数及び安心・安全に対する満足度に関連するが、指標及び数値目標に影響なし。	●			平成30年度完成予定
	(仮称)三保羽衣公園整備事業	103.0	A=0.50ha	103.0	A=0.50ha	なし	—	●			平成30年度完成予定
	(仮称)三保宮方公園整備事業	26.5	A=0.11ha	26.5	A=0.11ha	なし	—	●			平成30年度完成予定
河川											
下水道	折戸1号雨水幹線整備事業	448.0	L=425m	60.0	L=425m	平成26年12月の計画変更(第1回変更)に他計画(関連事業)へ移行し、事業費を減額	安心・安全に対する満足度に関連するが、関連事業として事業を継続するため、指標及び数値目標は据え置く。	●			平成26年12月より、関連事業へ移行(一部基幹事業として整備済み)
駐車場有効利用システム											
地域生活基盤施設	(仮称)羽衣海岸緑地整備事業	89.9	L=1,490m	89.9	L=1,490m	なし	—	●			平成30年度完成予定
	三保松原駐車場整備事業	—	—	43.4	A=2,000㎡	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて事業を追加し、平成28年1月の計画変更(第2回変更)にて事業費を増額	観光入込客数に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●			平成28年度完成予定
高質空間形成施設	三保地区公衆トイレ整備事業	—	—	17.3	1箇所	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて事業メニューの変更及び増額	増額を伴うが、事業メニュー変更なので指標及び数値目標に影響なし。	●			平成28年度完成予定
高次都市施設	複合施設建設事業(生涯学習交流館)	—	—	700.8	A=800㎡	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて事業の追加し、平成28年1月の計画変更(第2回変更)にて事業費を増額	安心・安全に対する満足度に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●			平成29年度完成予定
市街地再開発事業											
優良建築物等整備事業											
土地区画整理事業(都市再生)	三保羽衣土地区画整理事業	460.5	A=20.8ha	346.0	A=20.8ha	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて事業費の減額	安心・安全に対する満足度に関連するが、指標及び数値目標に影響なし。	●			平成30年度完成予定
住宅市街地総合整備事業											

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

モニタリング時の状況は、年度末時点の状況を記載した。

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地区再開発事業											
バリアフリー環境整備事業											
優良建築物等整備事業											
住宅市街地総合整備事業											
街なみ環境整備事業											
住宅地区改良事業等											
都心共同住宅供給事業											
公営住宅等整備											
都市再生住宅等整備											
防災街区整備事業											

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業											
事業	細項目	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造 支援事業	三保地区公衆トイレ整備事業	12.0	1箇所	—	—	平成26年12月の計画変更(第1回 変更)にて提案事業から削除し、基 幹事業の高質空間形成施設に変更	基幹事業への事業メニュー変更のため、指 標及び数値目標に影響なし。	●			
	三保地区景観計画ガイドライン策定 事業	10.0	—	10.0	—	なし	—			●	計画通り平成26年度に 完成
	折戸地区雨水きよ整備事業	43.0	L=575m	43.0	L=575m	なし	—	●			平成30年度完成予定
	複合施設建設事業(児童館)	—	—	177.5	A=300㎡	平成26年12月の計画変更(第1回 変更)にて、関連事業から地域創造 支援事業へ変更及び平成28年1月 の計画変更(第2回変更)で事業費 を増額	事業メニュー変更のため、指標及び数値目 標に影響なし。	●			平成29年度完成予定
事業活用調査											
まちづくり 活動推進事業	三保半島まちづくり活動支援事業	17.0	—	31.0	—	平成26年12月の計画変更(第1回 変更)にて事業費を増額	指標及び数値目標は据え置く。	●			継続して支援を実施

モニタリング時の状況は、年度末時点の状況を記載した。

## (参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	モニタリング時	当初計画	モニタリング時		
		複合施設建設事業(生涯学習交流館)	459.7	—	平成26年度～平成29年度	—	—	平成26年12月より、 基幹事業へ移行
		複合施設建設事業(児童館)	89.1	—	平成26年度～平成29年度	—	—	平成26年12月より、 提案事業へ移行
		(都)羽衣海岸線	—	2,000.0	—	平成16年度～平成30年度	事業中	平成26年12月より、 基幹事業より移行
		折戸1号雨水幹線整備事業	—	1,349.0	—	平成21年度～平成30年度	事業中	平成26年12月より、 基幹事業より移行
		(仮称)三保松原ビジターセンター建設事業	320.0	320.0	平成26年度～平成29年度	平成26年度～平成30年度	事業中	
		三保羽衣区画3号公園整備事業	3.5	3.5	平成27年度～平成28年度	平成30年度～平成30年度	未着手	
		三保羽衣区画4号公園整備事業	5.0	5.0	平成27年度～平成28年度	平成30年度～平成30年度	未着手	
		(都)清水港三保線(折戸1)	830.0	830.0	平成19年度～平成27年度	平成19年度～平成30年度	事業中	
		三保地区自転車走行空間ネットワーク整備事業	50.0	50.0	平成25年度～平成30年度	平成27年度～平成30年度	事業中	
		松林の健全な育成に向けた実証実験等事業(市有林管理計画)	45.9	45.9	平成26年度～平成30年度	平成27年度～平成28年度	完成	
		(仮称)三保松原保全活用計画策定事業	0.0	0.0	平成25年度～平成27年度	平成25年度～平成27年度	完成	
		観光案内標識・案内看板整備事業	15.0	15.0	平成26年度～平成26年度	平成26年度～平成26年度	完成	
		三保松原遊歩道改修	15.0	15.0	平成26年度～平成26年度	平成26年度～平成26年度	完成	
		マツ材線虫防除事業	196.0	196.0	平成26年度～平成30年度	平成26年度～平成30年度	事業中	
		水上バス運行事業	—	—	—	—	事業中	
		レンタサイクル運営	—	—	—	—	事業中	
		清水三保羽衣地区((都)塚間羽衣線)	1,666.0	1,660.0	平成25年度～平成28年度	平成25年度～平成32年度	事業中	

進捗状況は、年度末時点の状況を記載した。



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		現段階での目標達成見込み		総合所見	今後の方針
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	実施年度	実施年度	あり	なし				
指標1	人	毎年実施している、観光交流客数調査のデータのうち、平成27年度値をモニタリング値とする。	914,046	H17	906,734	H24	1,200,000	H29	1,066,343(平成27年度値)	H28	●		三保半島地区の観光入込客数は平成25年をピークに減少傾向にあったが、本年度に入り若干の増加傾向に転じている。今後は、計画登載事業の完了に伴う効果発現により、増加傾向が続くものと判断する。	計画登載事業の着実な推進を図るとともに、商談会における観光ルートへの組み込み等の観光施策を強化することで、計画登載事業の完了予定年度である平成30年度末時点での目標達成を目指す。
指標2	%	平成28年7月に三保半島地区を対象とした郵送アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「道路・自転車道の整備状況に満足していますか。」という設問に対し「そう思う」、「そう思う〜どちらとも言えない」までの間に回答した割合をモニタリング値とする。	—	—	20.1	H25	30.7	H30	20.5(平成28年度値)	H28	●		指標改善に寄与する事業のほとんどが事業中で、数値目標の増加は図られていない。しかし、住民アンケートの結果から、計画登載事業が完了することで満足度が向上し、目標値の達成を見込んでいる。	交通ネットワーク関連事業の着実な事業進捗を図ることで、事後評価時点での目標達成を目指す。
指標3	%	平成28年7月に三保半島地区を対象とした郵送アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「安心・安全に生活することができると思いますか。」という設問に対し「そう思う」、「そう思う〜どちらとも言えない」までの間に回答した割合をモニタリング値とする。	—	—	10.6	H25	24.5	H30	16.7(平成28年度値)	H28	●		指標改善に寄与する事業のほとんどが事業中で、指標への効果は発揮されていないものの、計画に登載されていない津波避難タワーの整備等により、住民の満足度が向上し、数値が増加していると推測できる。住民アンケートの結果からは、計画登載事業が完了することで、さらなる満足度が向上し、目標値を達成すると見込んでいる。	三保羽衣土地区画整理事業をはじめとする都市基盤整備等について、計画どおりの事業進捗を図ることで、事後評価時点での目標達成を目指す。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		本指標を取り上げる理由	総合所見	今後の方針
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	実施年度	実施年度					
その他の数値指標1	点	平成28年9月に「三保松原」にて、観光客を対象にアンケート調査を実施し、「三保半島での滞在時間はどの位ですか。(どの位を予定していますか。)」という5択の選択肢に1点~5点の点数を付け、加重平均をとった数値をモニタリング値とする。	—	—	3.4	H25			3.5	H28	観光入込客数という「量」の指標だけでなく、「質」の向上も観光面の充実には欠かせない指標であるため。	観光に関するアンケートの結果からは、三保半島の複数の施設を訪ねる利用者が少ないことが、滞在時間の増加につながっていない原因と推測できる。	集客施設の完成により、一定の滞在時間の増加が見込まれるが、ハード整備と併せて、ルートマップの作成など、周遊性を高めることで滞在時間のさらなる増加を図る。
その他の数値指標2													
その他の数値指標3													

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・住民の間にも、「三保松原」に対して、世界文化遺産の構成資産としての環境保全や資産価値という観点からの認識が高まりつつある。
- ・市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開された。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
指標の達成状況の計測と庁内組織による 検討	予定どおり実施した	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【実施時期】平成28年度</li> <li>●【実施結果】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市再生整備計画登載事業の進捗状況の把握</li> <li>・住民アンケートの実施(210通回収)</li> <li>・来訪者アンケートの実施(116通回収)</li> <li>・観光入込客数に関する統計資料整理</li> <li>・上記調査資料を用いた目標値の達成見込みの検証</li> </ul> </li> </ul>	モニタリングの調査結果を参考に、目標値の達成に向けて着実な事業進捗を図り、計画期間最終年度(平成30年度)に実施を予定している事後評価にて指標の達成状況を確認する。
	予定はなかったが実施した		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
三保半島まちづくり協議会	予定どおり実施した	今年度、事業の進捗状況の周知と、今後まちづくりに関する課題の選定を目的として、住民と市の協働での協議会を2回実施。	協議会活動等の情報発信を積極的に行うとともに、他のまちづくりに関する団体との連携を図りながら、住民のまちづくりに対する意識向上を図る。
	予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない		
三保半島景観形成ガイドライン策定に係る 検討 景観まちづくり講演会 景観まちづくりワークショップ 景観まちづくりニュースレター発行	予定どおり実施した	三保半島景観形成ガイドライン策定後の周知として、住民との意見交換会やニュースレターの発行等を実施。 (平成27年度)有識者による講演会:1回、ワークショップ:計6回、 ニュースレター:計3回 (平成28年度)ワークショップ:計4回、ニュースレター:1回	住民参加による意見交換会等を継続して行い、策定した三保半島景観形成ガイドラインの周知・運用を図る。
	予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
継続的な市民まちづくり活動を実施できる 体制の構築	予定どおり実施した	—	—	三保半島まちづくり協議会を中心として、継続的にまちづくり活動が出来る組織体制の構築を支援する。
	予定はなかったが実施した モニタリング時点では実施していない			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	総務局危機管理総室長、企画局次長、財政局次長兼財政部長、市民局次長、観光交流文化局次長、環境局次長、保健福祉長兼健康福祉部長、子ども未来局次長、経済局次長兼商工部長、都市局次長兼都市計画部長、都市局建築部長、建設局次長兼土木部長、建設局道路部長、消防局次長兼消防部長、上下水道局下水道部長、教育委員会事務局教育局次長	第1回：平成28年10月6日 第2回：平成28年11月10日	都市局 都市計画部 都市計画課
三保半島地区部会 (上記推進本部の下部組織)	部会長：市街地整備課長 部会員：生涯学習推進課長、観光交流課長、文化財課長、子ども未来課長、都市計画課長、緑地政策課長、公園整備課長、建築総務課長、道路計画課長、道路保全課長、清水道路整備課長、下水道計画課長、下水道建設課長	第1回：平成28年9月5日 第2回：平成28年10月21日	都市局 都市計画部 市街地整備課

添付様式4-② 効果発現要因の整理

現行計画		指標の種類	指標1	指標2	指標3	その他の指標		
		指標名	観光入込客数(人)	道路・自転車道に対する満足度(%)	安心・安全に対する満足度(%)	三保半島での滞在時間(点)		
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	
基幹事業	道路：(都)羽衣海岸線(一部施工後、関連事業に移行)	—	指標改善に直接的に貢献するビジターセンターの建設が、計画期間最終年度(平成30年度)となっており、また、三保地区公衆トイレ整備事業及び三保松原駐車場整備事業は今年度の完成予定となっていることから、モニタリング時点では効果発現に至っていない。	—	指標改善に寄与する事業のほとんどが事業中であり、モニタリング時点では効果発現に至っていない。(20.1%⇒20.5%)。住民アンケートの結果からは、計画記載事業が完了することで満足度の向上が見込まれる。	—	指標改善に寄与する事業のほとんどが事業中であり、モニタリング時点では効果発現に至っていない。一方で、計画に記載されていない津波避難タワーの整備等も行われており、アンケートの回答理由でも避難タワー整備を評価する意見も多く寄せられるなど、住民の満足度は一定程度の向上が見られた(10.6%⇒16.7%)。住民アンケートの結果からは、計画記載事業が完了することで満足度の向上が見込まれる。	—
	公園：羽衣公園整備事業	—	—	—	—	—	—	
	公園：(仮称)三保羽衣公園整備事業	—	—	—	—	—	—	
	公園：(仮称)三保宮方公園整備事業	—	—	—	—	—	—	
	下水道：折戸1号雨水幹線整備事業(一部施工後、関連事業に移行)	—	—	—	—	—	—	
	地域生活基盤施設：(仮称)羽衣海岸緑地整備事業	—	—	—	—	—	—	
	地域生活基盤施設：三保松原駐車場整備事業	—	—	—	—	—	—	
	高質空間形成施設：三保地区公衆トイレ整備事業	—	—	—	—	—	—	
	高次都市施設：複合施設建設事業(生涯学習交流館)	—	—	—	—	—	—	
	土地区画整理事業：三保羽衣土地区画整理事業	—	—	—	—	—	—	
提案事業	地域創造支援事業：三保地区景観計画ガイドライン策定事業	○	—	—	—	—	—	
	地域創造支援事業：折戸地区雨水きよ整備事業	—	—	—	—	—	—	
	地域創造支援事業：複合施設建設事業(児童館)	—	—	—	—	—	—	
まちづくり活動推進事業：三保半島まちづくり活動支援事業	—	—	—	—	—	—	—	
関連事業	(都)羽衣海岸線	—	—	—	—	—	—	
	折戸1号雨水幹線整備事業	—	—	—	—	—	—	
	(仮称)三保松原ビジターセンター建設事業	—	—	—	—	—	—	
	三保羽衣区画3号公園整備事業	—	—	—	—	—	—	
	三保羽衣区画4号公園整備事業	—	—	—	—	—	—	
	(都)清水港三保線(折戸1)	—	—	—	—	—	—	
	三保地区自転車走行空間ネットワーク整備事業	◎	—	—	—	—	—	
	松林の健全な育成に向けた実証実験等事業(市有林管理計画)	◎	—	—	—	—	—	
	(仮称)三保松原保全活用計画策定事業	◎	—	—	—	—	—	
	観光案内標識・案内看板整備事業	◎	—	—	—	—	—	
	三保松原遊歩道改修	◎	—	—	—	—	—	
	マツ材線虫防除事業	◎	—	—	—	—	—	
	水上バス運行事業	—	—	—	—	—	—	
レンタサイクル運営	—	—	—	—	—	—		
清水三保羽衣地区((都)塚間羽衣線)	—	—	—	—	—	—		

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
  - ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
  - △：完成直後又は事業開始直後のため、効果の発現に至っていない。
  - ×：事業が完成したが、期待通りの効果を発揮していない。
  - ：評価できない。
- 〔未着手又は事業中のため評価できない、事業が指標と関係ないので評価できない〕

今後の方針等	未完事業を計画通り完成させるとともに、集客施設等の整備状況に関する情報発信を積極的にを行うことで、事後評価時の効果発揮の増大を図る。	交通ネットワーク関連事業の着実な事業実施により、事後評価時の最大限の効果発揮を目指す。	三保羽衣土地区画整理事業をはじめとする都市基盤整備等の着実な事業実施により、事後評価時の最大限の効果発揮を目指す。	滞在時間アップに寄与する施設整備の着実な事業実施とともに、商談会等での観光プロモーションや既存の観光スポットの情報発信を強化することで、事後評価時の効果発揮の増大を図る。
--------	--	---	---	---

※ 事業名等の文字色について ⇒ 赤文字：完成、青文字：事業中、黒文字：未着手 を示す。中間評価時点は、H28年度末(H29年度3月末)として整理した。

#### (4) モニタリングの所見

##### 添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
土地区画整理を中心とした公共空間 の整備と良好な市街地環境の形成	第1期計画から継続して実施されている土地区 画整理事業の進捗により、事業区域内におい て快適な住環境が整いつつある。	土地区画整理事業及び各公園整備事業の計画期間内 完成に向けた着実な事業推進。	—
道路ネットワークの充実を図るため、 観光地へのアクセス道路・生活道路 の改善、拡充	自転車走行空間ネットワーク整備事業の進捗 により、三保半島地区の回遊性の向上が図ら れつつある。	道路整備事業等の計画期間内完成に向けた着実な事 業推進。	
地域特性を考慮して、さらなる地域 総合防災力の強化	防災機能を備えた公園整備計画が具体化され るとともに、折戸1号雨水幹線整備事業の進捗 により、整備済区域の排水機能の向上が図ら れつつある。	防災機能を高める公園整備事業等の計画期間内完成 に向けた着実な事業推進。	
富士山世界文化遺産の構成資産に 登録された「三保松原」を中心に、更 なる地域資源の磨き上げ・活用を推 進し、三保半島の観光面を充実	三保松原遊歩道改修事業や観光案内標識・案 内看板整備事業が完了し、三保半島地区にお ける観光面の施設整備が進んでいる。	(仮称)三保松原ビジターセンター建設事業等の計画期 間内完成に向けた着実な事業推進。	
地域全体の包括的な取り組みを促 すシステムづくり(組織の育成、地域 連携に向けたソフト施策の展開)	平成26年度に策定した「三保地区景観計画ガイ ドライン」を基にワークショップや講演会を開催 し、地元住民の景観に対する意識の醸成を図っ た。	地域資源の磨き上げ・活用、それに連動した生活利便 性の向上を図るため、協働によるまちづくり活動の継続 的な実施。	

##### 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見		今後の事業の改善点	
		具体的項目	内容
順調	● 事業の進め方の工夫	事業の円滑な進捗を図る	整備計画に登載された事業所管課による横断的連絡体制を強化し、各事業の進捗 状況、スケジュール等を共有することにより、地域の課題解決に向け効果的な事業進 捗を図る。 また、本整備計画の対象区域が広域であることから、事業に関する情報を積極的に 発信し、整備効果に対する理解を深めて貰う。
計画・事業の進め方の 改善が必要			
今後の事業進捗により、地区住民の 満足度を指標とした項目の目標達成 は見込めるが、観光入込客数の目 標達成には、観光面のさらなる充実 が必要である。	都市再生整備計画 の見直しの必要性	事業費の変更等の計画書の変更が 必要	第3回変更を実施する。

## (5) モニタリング原案の公表

### 添付様式6 モニタリング原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成28年12月5日 ～平成29年1月6日	平成28年12月5日 ～平成29年1月6日	パブリックコメント(意見 公募手続き)にて実施  郵送、ファクシミリ送 信、電子メール及び市 役所市街地整備課また は各区役所窓口へ直 接持参	都市局 都市計画部 市街地整備課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで原 案を公表している旨を掲載	平成28年12月1日 発刊 広報12月号	平成28年12月5日 ～平成29年1月6日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	市街地整備課窓口及び各区庁 舎市政情報コーナーにおける 閲覧	平成28年12月5日 ～平成29年1月6日	平成28年12月5日 ～平成29年1月6日		

住民の意見	<p>【意見：1件】</p> <p>◆事業所管課が案件により違うので難しいと思いますが、横断的に連絡体制を強化して、それぞれの工程調整や事業目的の把握を確実にしていってほしいです。</p> <p>特にルートマップについては、様々な時代で、県を含めた様々な事業所管課から、名称やルートの違う三保の地図ができてしまっていたことを知っています。細部まで整合性のとれた三保を紹介できるルートマップ作成に期待しています。</p>
-------	---



## (6) 有識者からの意見聴取

### 添付様式7 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
日詰一幸(静岡大学人文社会科学部法学科教授) 室田昌子(東京都市大学環境学部環境創生学科教授) 石上義之(技術士)	平成29年3月10日(金)	都市局 都市計画部 都市計画課

有識者の意見	<p>評価委員会(第三者委員会)を開催して、意見聴取を実施した。 有識者(評価委員)からの主な意見を以下に掲載する。</p> <p><b>【日詰委員長】</b>            ◆東海大学等の地域の関連組織との連携により、三保松原以外の観光入込客数を増加させていくことも必要だと思う。何か具体的な取組は行っているか。            ⇒回答)現在具体的な取組はまだないが、計画に登載された事業の進捗のほか、たとえばルートマップを作成する等、複数施設の来訪を促す様な回遊性を高める施策を検討していきたいと考えている。            ◆パブリックコメントについて、1件のみであるが、もう少し意見の件数を増やすしかけが必要であると感じる。意見を募るにあたり、何か工夫したことはあるか。            ⇒回答)市の広報やHPでの呼びかけに加え、地域住民に対し、まちづくり通信の配布を行ったが、なかなか結果には結びついていないと感じている。</p> <p><b>【室田委員】</b>            ◆地域住民と観光客とでは、サイクリングロードに対するニーズが異なっている可能性がある。たとえば外国人観光客の間では、地元との結びつきを期待しながら、自転車で走り回るのが人気のようなものである。そのようなニーズの違いについても意識すると、三保半島の観光の多様性がより高まり、滞在時間の増加にもつながると思う。            ◆安心・安全に対する満足度として、主に防災面が取り上げられているが、トラブル防止や防犯対策等にも配慮することも、地域住民・観光客両者にとって重要なことであると思う。            ◆三保松原のようなわかりやすい観光資源だけでなく、地域の中に埋もれている資源にも目を向けて掘り起こしたり、初めて来た観光客にとっても魅力を感じられる工夫を加えたりすることも重要だと思う。地域住民とともに地域資源の磨きあげにも力を入れていただきたい。</p> <p><b>【石上委員】</b>            ◆三保半島地区は羽衣の松や富士山の景観を活かした取組が考えられると思う。目標を達成できるよう努めていただきたい。            ◆説明資料で地区の交通の状況を見たところ、(都)羽衣海岸線の整備が進むと、羽衣の松やビジターセンターにアクセスしやすくなり、地区内の動きがとりやすくなると思う。(都)羽衣海岸線の整備をぜひ推進していただきたいが、現在の進捗状況はどうなっているか。            ⇒回答)用地買収が進捗上の課題となっているが、計画通り平成30年度の完了をめざす。既に整備済の区間もあるが供用には至っていない。今後整備済の区間から暫定的に供用していくことも考慮しながら、事業を進めていく予定である。</p>
--------	---

# 都市再生整備計画(第3回変更)

み ほ はんとう だい き  
三保半島地区(第3期)

しずおか しずおか  
静岡県 静岡市

平成29年1月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	静岡市	地区名	三保半島地区(第3期)	面積	450 ha
計画期間	平成	26	年度	～	平成	30	年度
				交付期間	平成	26	年度
					～	平成	30
							年度

### 目標

富士山世界文化遺産の構成資産である「三保松原」を核とし、豊かな地域資源を活かした文化・観光・生活の交流半島まちづくり

目標①：地域資源を磨き上げることで、魅力ある観光まちづくりを実現

目標②：様々な交通手段を組み合わせ、交通ネットワークを充実させることで回遊性を向上

目標③：誰もが快適で住みやすい、安心・安全のまちづくりの推進

目標④：地域住民が主体となったまちづくりの実現

### 目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

静岡市の三保半島は、羽衣伝説に代表され、平成25年6月に富士山世界文化遺産の構成資産に登録された名勝「三保松原」を有する全国的にも有名な観光地であり、さらに海水浴場や、周囲には日本三大美港と呼ばれる清水港をはじめ、日本の観光百選、国の名勝、県の自然公園に指定された日本平や、平成22年に国宝に指定された久能山東照宮、石垣イチゴ狩り等の観光スポットが点在し、これらと連携した観光戦略が求められている。一方で、地区内には東海大学をはじめとする教育施設や福祉・コミュニティ施設が多く立地するほか、地区北部には造船業や金属業を中心に発達した工業地帯が広がり、観光の賑わいと市民生活の営みが混在する地区でもある。今般、世界遺産登録で一躍脚光を浴び、観光客の期待度が高まっているため、さらに地域資源を磨き上げることで、観光客の満足度向上を図り、更なる観光客の集客につなげる必要がある。

現在、当該地区を貫く幹線道路がひとつしかなく、地区内の生活道路は4mに満たない狭隘な道路が多いため、朝晩の通勤・通学、帰宅時に渋滞が発生しているだけでなく、観光シーズンには慢性的な渋滞となっている。今後、世界遺産登録で増加する観光客を受け入れるため、早期の道路、都市基盤の整備が求められている。また、半島の大半が南海トラフ地震による津波被害を受けることが想定されているほか、近年のゲリラ豪雨等による浸水被害も危惧され、安心して安全に生活できるまちづくりが求められている。

また、三保半島まちづくり協議会による、「三保の松原散策マップ」の編集・配布、QRコードを使った情報板(見えなくても観る解説看板)の実験的設置等、住民の参画を得ながら、協働によるまちづくりを進めているところである。

### 課題

①土地区画整理を中心とした公共空間の整備と良好な市街地環境の形成

・区画整理事業完了に向け、今後も公共施設の整備を進めるため、継続的な事業の遂行が必要である。

②道路ネットワークの充実を図るため、観光地へのアクセス道路・生活道路の改善、拡充

・三保松原が、富士山世界文化遺産の構成資産になったことから、観光拠点としての注目度が飛躍的に伸びていることから、道路ネットワーク形成の強化・拡充が求められる。

・多様なニーズに合わせた交通ネットワークの形成により回遊性を向上し、道路整備事業のみならず、水上バスの活用や自転車道の再整備など多角的な対策が必要となる。

③地域特性を考慮して、さらなる地域総合防災力の強化

・防災機能の強化策は進めているものの、地域特性上、津波被害が危惧される地区であることから、地域防災力の強化策が必要となる。

④富士山世界文化遺産の構成資産に登録された「三保松原」を中心に、更なる地域資源の磨き上げ・活用を推進し、三保半島の観光面を充実

・富士山の世界文化遺産登録を契機に、観光客の増加が見込まれるため、更なる地域資源の磨き上げや活用の推進、ブランド化に力を入れていく必要がある。

⑤地域全体の包括的な取り組みを促すシステムづくり(組織の育成、地域連携に向けたソフト施策の展開)

・地元まちづくり協議会の活動範囲を三保半島全体に拡大して活動を進めているところであるが、まちみがき戦略プラン(H23年10月)でも、「官民が一体となり、日本平・久能山・三保地区を日本一の観光地に磨き上げる」という戦略的ビジョンが示されていることから、更なる取り組みの強化・拡充が課題である。

### 将来ビジョン(中長期)

■静岡市第2次総合計画「世界に輝く『静岡』の創造」

・観光資源の強化・充実として、名勝「三保松原」が位置付けられている。

■都市マスタープラン

まちづくりの目標(地域構想)「美しく豊かな自然資源を背景に、みなとの薫りが漂う風光明媚なまちづくり」

(地域整備の基本方針)・清水を象徴する郷土景観である三保海岸の自然環境を保全

(自然環境の保全及び公園緑地の整備方針)

・三保海岸は養浜等の海岸浸食対策を促進することにより、美しい砂浜海岸を維持・保全する。・海岸沿を連絡する歩行者自転車道路のネットワーク整備の推進(市街地環境の整備推進)

・折戸地区の未整備市街地においては、主要生活道路等の基盤整備を推進しながら、地区計画制度等の活用により、良好な低密度住宅地の形成

・三保地区の未整備市街地においては、土地区画整理事業の計画的な整備により、周辺環境と調和し、ゆとりある良好な低密度住宅地の形成

■静岡市まちみがき戦略推進プラン

「官民が一体となり、日本平・久能山・三保地区を日本一の観光地に磨き上げる。」日本平・久能山・三保地区のエリアマネジメント等の活用検証・反映

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光入込客数	人/年	三保半島における1年間の観光入り込み客数(市観光統計資料)	地域資源を磨き上げることで、魅力ある観光まちづくりの実現に対する指標	906,734	H24	1,200,000	H29
道路・自転車道に対する満足度	%	道路・自転車道の整備状況に対する住民の満足度の割合	交通ネットワークを充実させることで回遊性を向上に対する指標	20.1	H25	30.7	H30
安心・安全に対する満足度	%	安心・安全に対する住民の満足度の割合	誰もが快適で住みやすい、安心・安全のまちづくりの推進に対する指標	10.6	H25	24.5	H30



# 都市再生整備計画の整備方針等

## 計画区域の整備方針

整備方針1: 地域資源を磨き上げることで、魅力ある観光まちづくりを実現  
 ・富士山世界文化遺産の構成資産に登録された「三保松原」を中心に、更なる地域資源の磨き上げ・活用を推進し、三保半島の観光面の充実のための整備の推進

整備方針2: 様々な交通手段を組み合わせ、交通ネットワークを充実させることで回遊性を向上  
 ・富士山の世界文化遺産登録による観光客増加が見込まれるため、道路整備事業を推進させ、道路ネットワーク形成を充実させ、観光地へのアクセス道路としての改善と強化  
 ・地域住民の生活道路の改善を行うため、交通ネットワークの形成を推進

整備方針3: 誰もが快適に住みやすい、安心・安全のまちづくりの推進  
 ・公共空間の整備と都市基盤の整備により、誰もが安心・快適に暮らせる居住環境の推進  
 ・地域特性を考慮して、更なる地域総合防災力の強化

整備方針4: 地域住民が主体となったまちづくりの実現  
 ・地域住民主体の活動を推進し、行政と連携したまちづくり活動の実現  
 ・まちみがき戦略プラン(H23年10月)の「官民が一体となり、日本平・久能山・三保地区を日本一の観光地に磨き上げる」という戦略的ビジョンに沿って、大きな地域資源「三保松原」を中心に、観光施策を強化

## 方針に合致する主要な事業

■基幹事業  
 ・公園: 羽衣公園整備事業、(仮称)三保羽衣公園整備事業  
 ・地域生活基盤施設(緑地): (仮称)羽衣海岸緑地整備事業  
 ・地域生活基盤施設(駐車場): 三保松原駐車場整備事業  
 ・高質空間形成施設(障害者誘導施設): 三保地区公衆トイレ整備事業  
 □提案事業  
 ・地域創造支援事業: 三保地区景観計画ガイドライン策定事業  
 ・まちづくり活動推進事業: 三保半島地区まちづくり活動支援事業  
 ○関連事業  
 三保地区自転車走行空間ネットワーク整備事業、松林の健全な育成に向けた実証実験等事業、(仮称)三保松原保全活用計画策定事業、観光案内標識・案内看板整備事業、三保松原遊歩道改修、マツ材線虫防除事業、水上バス運行事業、レンタサイクル運営、清水三保羽衣地区((都)塚間羽衣線)、(仮称)三保松原ビジターセンター建設事業

■基幹事業  
 ・道路: (都)羽衣海岸線整備事業  
 ・土地区画整理事業: 三保羽衣土地区画整理事業  
 ○関連事業  
 (都)清水港三保線(折戸1)、三保地区自転車走行空間ネットワーク整備事業、観光案内標識・案内看板整備事業、三保松原遊歩道改修、水上バス運行事業、レンタサイクル運営、(都)羽衣海岸線整備事業、清水三保羽衣地区((都)塚間羽衣線)

■基幹事業  
 ・道路: (都)羽衣海岸線整備事業  
 ・公園: 羽衣公園整備事業、(仮称)三保羽衣公園整備事業、(仮称)三保宮方公園整備事業  
 ・地域生活基盤施設(緑地): (仮称)羽衣海岸緑地整備事業  
 ・下水道: 折戸1号雨水幹線整備事業  
 ・土地区画整理事業: 三保羽衣土地区画整理事業  
 ・高次都市施設(地域交流センター): 複合施設建設事業(三保地域交流センター)  
 □提案事業  
 ・地域創造支援事業: 折戸地区雨水きよ整備事業、複合施設建設事業(児童館)  
 ・まちづくり活動推進事業: 三保半島地区まちづくり活動支援事業  
 ○関連事業  
 (都)清水港三保線(折戸1)、清水三保羽衣地区((都)塚間羽衣線)、三保羽衣区画3号公園、三保羽衣区画4号公園、(都)羽衣海岸線整備事業、折戸1号雨水幹線整備事業

□提案事業  
 ・まちづくり活動推進事業: 三保半島地区まちづくり活動支援事業

## その他

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,117.3	交付限度額	846.9	国費率	0.4
---------	---------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	道路		(都)羽衣海岸線	静岡市	直	W=12m,L=2,200m	16	30	26	26	2,000.0	64.6	64.6		64.6	-
	道路(地方都市リノベーション事業)															
	公園		羽衣公園整備事業	静岡市	直	A=17.5ha	24	30	26	30	1,632.4	349.3	349.3		349.3	-
	公園		(仮称)三保羽衣公園整備事業	静岡市	直	A=0.50ha	28	30	28	30	120.0	120.0	120.0		120.0	-
	公園		(仮称)三保宮方公園整備事業	静岡市	直	A=0.11ha	29	30	29	30	31.0	31.0	31.0		31.0	-
	公園(地方都市リノベーション事業)															
	古都及び緑地保全事業															
	河川															
	下水道		折戸1号雨水幹線整備事業	静岡市	直	L=425m	21	30	26	26	1,349.0	60.0	60.0		60.0	-
	駐車場有効利用システム															
	地域生活基盤施設(緑地)		(仮称)羽衣海岸緑地整備事業	静岡市	直	L=1,490m	20	30	26	30	131.0	89.9	89.9		89.9	-
	地域生活基盤施設(駐車場)		三保松原駐車場整備事業	静岡市	直	A=2,000㎡	27	28	27	28	173.6	43.4	43.4		43.4	-
	地域生活基盤施設(地域防災施設)															
	高質空間形成施設(カラー舗装)															
	高質空間形成施設(障害者誘導施設)		三保地区公衆トイレ整備事業	静岡市	直	1箇所	27	27	27	27	17.3	17.3	17.3		17.3	-
	高次都市施設(地域交流センター)		複合施設建設事業(三保地域交流センター)	静岡市	直	A=800㎡	26	30	28	29	774.0	700.8	700.8		700.8	-
	高次都市施設(観光交流センター)															
	高次都市施設(人工地盤等)															
	地方都市リノベーション推進施設(教育文化施設)															
	生活拠点施設(地域交流センター)															
	既存建造物活用事業(地域生活基盤施設:広場)															
	既存建造物活用事業(観光交流センター)															
	既存建造物活用事業(地方都市リノベーション推進施設)															
	土地区画整理事業		三保羽衣土地区画整理事業	組合	間	A=20.8ha	16	30	26	30	1,820.0	320.5	320.5		320.5	-
	市街地再開発事業															
	住宅街区整備事業															
	地区再開発事業															
	バリアフリー環境整備促進事業															
	優良建築物等整備事業															
	住宅市街地	拠点開発型														
	総合整備	沿道等整備型														
	事業	密集住宅市街地整備型														
		耐震改修促進型														
	街なみ環境整備事業															
	住宅地区改良事業等															
	都心共同住宅供給事業															
	公営住宅等整備															
	都市再生住宅等整備															
	防災街区整備事業															
	合計										8,048.3	1,796.8	1,796.8	0	1,796.8	-

…A

提案事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
	地域創造支援事業		三保地区景観計画ガイドライン策定事業	静岡市	直	-	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	10.0	10.0	10.0		10.0
			折戸地区雨水きよみ整備事業	静岡市	直	L=575m	平成29年度	平成29年度	平成29年度	平成29年度	102.0	102.0	102.0		102.0
			複合施設建設事業(児童館)	静岡市	直	A=300㎡	平成26年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	185.4	177.5	177.5		177.5
	事業活用調査														
	まちづくり活動推進事業		三保半島まちづくり活動支援事業	静岡市	直	-	平成26年度	平成30年度	平成26年度	平成30年度	31.0	31.0	31.0		31.0
	合計										328.4	320.5	320.5	0	320.5

…B  
2,117.3



都市再生整備計画の区域

三保半島地区(第3期)(静岡県静岡市)	面積 450 ha	区域 清水区折戸・三保・駒越の一部
---------------------	--------------	----------------------

